

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成21年10月22日 (2009.10.22)

【公開番号】特開2008-65660(P2008-65660A)

【公開日】平成20年3月21日 (2008.3.21)

【年通号数】公開・登録公報2008-011

【出願番号】特願2006-243775(P2006-243775)

【国際特許分類】

G 0 6 K 19/07 (2006.01)

B 6 5 D 23/12 (2006.01)

B 6 5 D 25/20 (2006.01)

【F I】

G 0 6 K 19/00 J

G 0 6 K 19/00 H

B 6 5 D 23/12

B 6 5 D 25/20 P

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月4日 (2009.9.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】センサ装置及び容器類

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の基体に、外部装置から送信される電磁波を受信する第 1 のアンテナと、前記第 1 のアンテナと電氣的に接続される第 2 のアンテナとを有し、

第 2 の基体に、前記第 2 のアンテナと電磁結合する第 3 のアンテナと、前記第 3 のアンテナが受信した電磁波を整流して電力として蓄える蓄電部と、前記蓄電部から供給される電力で動作するセンサ部とを備えたことを特徴とするセンサ装置。

【請求項 2】

第 1 の基体に、外部装置から送信される電磁波を受信する第 1 のアンテナと、前記第 1 のアンテナが受信した電磁波を整流して電力として蓄える蓄電部と、前記蓄電部から供給される電力を変調して送電する第 2 のアンテナとを有し、

第 2 の基体に、前記第 2 のアンテナと電磁結合する第 3 のアンテナと、前記第 3 のアンテナが受信した電磁波を整流した電力で動作するセンサ部とを備えたことを特徴とするセンサ装置。

【請求項 3】

請求項 1 又は請求項 2 において、前記第 1 のアンテナは、多周波共用アンテナであることを特徴とするセンサ装置。

【請求項 4】

外部装置から送信される電磁波を受信するアンテナと、前記アンテナで受信した電磁波を

電力に変換して蓄積する蓄電部と、第 1 のコイルアンテナとを有する第 1 の基体と、対象物の物理量を検出するセンサ部と、第 2 のコイルアンテナを有する第 2 の基体とを有し、
前記第 1 の基体と前記第 2 の基体との間の通信及び電力の授受を、電磁結合する前記第 1 のコイルアンテナ及び前記第 2 のコイルアンテナによって行うことを特徴とするセンサ装置。

【請求項 5】

外部装置から送信される電磁波を受信するアンテナと、第 1 のコイルアンテナとを有する第 1 の基体と、
対象物の物理量を検出するセンサ部と、前記アンテナで受信した電磁波を電力に変換して蓄積する蓄電部と、第 2 のコイルアンテナとを有する第 2 の基体とを有し、
前記第 1 の基体と前記第 2 の基体との間の通信及び電力の授受を、電磁結合する前記第 1 のコイルアンテナ及び前記第 2 のコイルアンテナによって行うことを特徴とするセンサ装置。

【請求項 6】

請求項 4 又は請求項 5 において、
前記アンテナは、多周波共用アンテナであることを特徴とするセンサ装置。

【請求項 7】

請求項 1 乃至請求項 6 のいずれか一項において、
前記蓄電部はコンデンサで構成されていることを特徴とするセンサ装置。

【請求項 8】

請求項 7 において、
前記コンデンサは電気二重層コンデンサであることを特徴とするセンサ装置。

【請求項 9】

請求項 1 乃至請求項 8 のいずれか一項において、
前記第 1 の基体と前記第 2 の基体は分離されていることを特徴とするセンサ装置。

【請求項 10】

請求項 1 乃至請求項 9 のいずれか一項において、
前記第 1 の基体と前記第 2 の基体は、一部が重畳していることを特徴とするセンサ装置。

【請求項 11】

本体の外装部に、電磁波を受電する第 1 のアンテナと、
前記第 1 のアンテナと電氣的に接続する第 2 のアンテナを有する第 1 の基体と、
前記本体の内側に、前記第 2 のアンテナと電磁結合する第 3 のアンテナと、
前記第 3 のアンテナによって生じた誘導起電力を整流した電力を蓄積する蓄電部と、
前記蓄電部から電力の供給を得て動作する中央演算処理部と、前記中央演算処理部に信号を入力するセンサ部とを有する第 2 の基体とを備えたことを特徴とする容器類。

【請求項 12】

本体の外装部に、電磁波を受電する第 1 のアンテナと、
前記第 1 のアンテナと電氣的に接続する第 2 のアンテナと、
前記第 1 のアンテナが電磁波を吸収することによって生じた誘導起電力を整流した電力を
蓄積する蓄電部と、
前記蓄電部から電力の供給を得て動作する中央演算処理部を有する第 1 の基体と、
前記本体の内側に、前記第 2 のアンテナと電磁結合する第 3 のアンテナと、
前記蓄電部から電力を供給されて動作するセンサ部を有する第 2 の基体とを備えたことを特徴とする容器類。